EE（課題論文）におけるコミュニケーションスキル

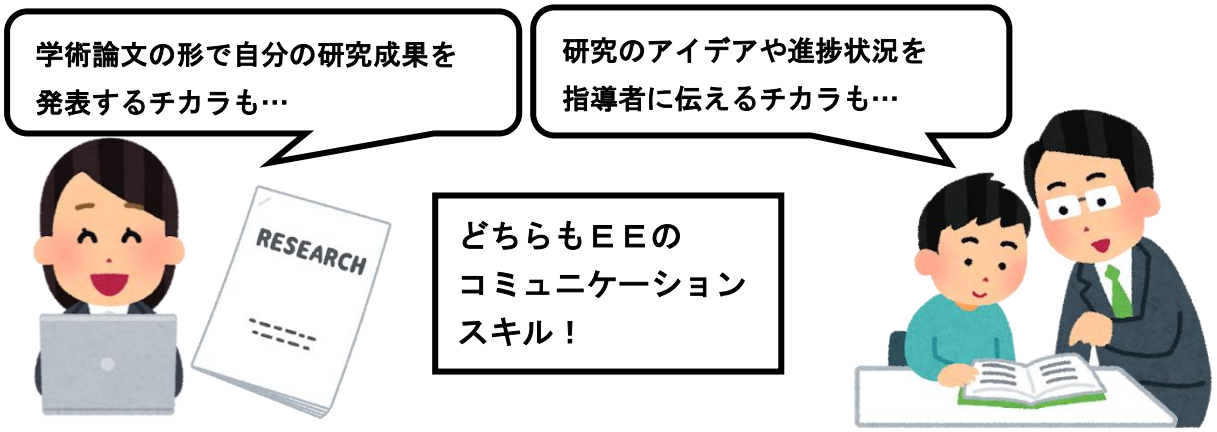
1.EE におけるコミュニケーション

「課題論文」（EE：extended essay）では、指導を受けながら個人的に関心のあるトピックの研究に取り組み、研究成果を 4000 語（日本語の場合は 8000 字）以内の学術論文にまとめます※1。EE における IB の学習者像「コミュニケーションができる人」の説明としては、「**生徒は、考えや情報を学問的な方法で効果的に表現します**※2。」となっています。研究成果を学術的に正しく表現することが何より重要です。

2．EE におけるコミュニケーションスキル

○研究結果を、学術論文という具体的な方法で伝達する能力を実証しなければなりません。
そのために…明確かつ一貫性をもって論拠を形成し、十分なエビデンスのある結論を導く必要があります※3。

○生徒は指導者とのセッションにおいて、自分の研究のアイデアや進捗状況、成功した点と苦労した点を伝える能力を発達させます。
これは…口頭でのコミュニケーションに加え、「振り返りおよび進捗についてのフォーム（RPF)」や「自己の振り返りジャーナル（RRS)」を通じて行われます※3。



3．本校では

○生徒は希望する科目（Group）ごとに分かれ、生徒１～３人につき専門の担当教員が１人つきます。
少人数で相談・対応しやすい環境を作り、生徒の自発的なコミュニケーションを促しています。

○各科目（Group）で、科目ごとの特徴や、生徒の進捗に応じたサポートがなされています。
また、教員は科目の内容のみならず、学術論文を書くにあたっての表現や様式の指導を行い、生徒が自分の研究成果を明確に伝えられるよう助力しています。

※1　『「課題論文」（EE）指導の手引き　2027 年第 1 回評価』p. 5

※2　同上 p. 9

※3　同上 p. 12